

デジタルツールと日本語学習に関するアンケート

1. 研究の趣旨

本研究は、日本学術振興会・科学研究費助成事業^(注1)の助成を受け、外国人の日本語使用に関する研究を行っています。日本語使用に関する特徴および課題を幅広い観点からアンケート、インタビューなどの調査を実施し、その分析結果をもとに、外国人への言語教育に活用することを目指しています。本研究にご協力くださいますよう、何卒お願い申し上げます。

なお、回答の際、メールアドレスをご記入いただいた方の中から抽選で、Amazon ギフトカード（500円分）を進呈いたします。

^(注1) 科学研究費助成事業は、人文学、社会科学から自然科学まで全分野にわたって、基礎から応用まであらゆる「学術研究」を発展させることを目的とする「競争的研究資金」です。ピアレビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に対する助成が行われます。

調査内容を理解し、研究調査に協力いただける方のみご回答ください。

2. 研究課題

研究課題名：基盤研究(C)「ベトナム系住民を対象としたポストコロナ時代の言語教育に関する日台比較研究」（課題番号 21K00758）

研究期間：2021 – 2023

研究代表者：三重大学教育学部 准教授 服部明子

プロジェクトメンバー：

愛知淑徳大学初年次教育部門助教 鈴木崇夫

愛知淑徳大学初年次教育部門助教 猪狩英美

國立台中教育大學 語文教育學系 副教授 蔡喬育

翻訳・通訳 王 文齡

3. 研究協力への同意表明および同意表明後の撤回の自由について

本調査へのご協力は、個人の同意に基づきます。ご参加いただいた方の事情により、何れの調査段階においても参加を中止する権利があります。また、調査終了後の段階におきましても、データ使用を許可しない権利及びデータ使用の許可を撤回する権利があります。ただし、研究結果発表後の撤回にはご対応できません。

4. 研究成果の公表等について

本研究成果は学会や学術雑誌等で公に発表されることがあります。学会誌などに掲載された場合、希望者の方には別刷り等をお送りいたします。また、本研究の計画内容、成果、情報等については、個人が特定されないようにした上で、差し支えない範囲で、お見せすることができ

ます。ご希望の方は、調査参加同意書の「データに関するご要望等」にご記入ください。

5. 個人情報の保護

調査協力者の方の個人情報の取り扱いには細心の注意を払います。データは個人が特定されないよう匿名化するなど、日本で定められた個人情報の保護に関する法律の理念に準じ、プライバシーを遵守いたします。データは、研究目的以外には一切使用せず、研究者間で厳重に保管します。本研究のデータは、研究者本人が使用し、他の機関へ提供する可能性はありません。

5. 研究代表者連絡先

調査へのご質問などありましたら、本研究者が対応いたします。

三重大学 教育学部 服部 明子 (Hattori Akiko)

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

電話: 059-231-9360 Eメール: hattori@edu.mie-u.ac.jp